

2022年度

こども保育科

3年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	K3-K02			
時間数は45分換算						
授業科目名				学科・コース		
就職準備講座Ⅱ				こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	60	2	本目亜古	
授業の目的						
<p>希望する職場、特に保育所・こども園・幼稚園・養護施設等に就職することを目指す。そのための具体的な準備をする。履歴書や志望動機、自己PR文等の書き方や提出方法を覚える。実習記録や保育日誌、保護者への連絡帳を書くために、よみやすい文字の書き方や保育用語を用いた文章表現を練習し、身につける。</p>						
授業の到達目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職する意義を理解し、自分に合った就職先を探す。 2. 希望する就職先（保育所・こども園・幼稚園・施設など）に就職するための準備をする。 3. 履歴書の書き方を覚える。自己PR文・志望動機の書き方を学んで実際に書いてみる。 4. 保育関連の基本用語を覚え、わかりやすい文で書く。 5. 実習記録・保育日誌・連絡帳などを、よみやすい文字で適切に書ける。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業		
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
修了テスト			30%	%	%	30%
課題テスト			30%	%	%	30%
提出ワークシート・ノート			10%	20%	%	30%
受講態度			%	%	10%	10%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
※講師作成の授業プリントとワークシートを配布						

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2022年度		
					科目コード	K3-K02		
授業科目名					学科・コース			
Job Preparation Course II 就職準備講座 II					こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
3	前期	必修	60	2	前田 由美子			
授業の目的								
就職試験に向けて、就活に必要な心構えや書類の作成などの準備、一般常識の学習、面接、内定後の手続きなどを一通り学習する。就職活動に対する意識をもち、意欲的、積極的に授業に取り組むことが重要である。								
授業の到達目標								
社会人としての一般常識の知識と、保育者としての専門分野の知識を習得することで、就職に向けて準備をすることができる。								
授業方式								
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型				
授業形態								
講義	<input type="radio"/>	演習	<input type="radio"/>	実験・実習・実技				
アクティブ・ラーニング								
グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク		プレゼンテーション				
ロールプレイ	<input type="radio"/>	PBL		反転授業				
対話・議論型授業		調査学習	<input type="radio"/>	教えあい授業				
その他								
成績評価の方法								
評価項目		評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
受講態度					%	%	50%	50%
書類作成					20%	%	%	20%
一般常識テスト・実技テスト					10%	10%	10%	30%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
使用テキスト・教材								

シラバス (授業概要)					年度	2022年度
					科目コード	K3-K05
					時間数は45分換算	
授業科目名					学科・コース	
コミュニケーション活動Ⅲ					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3年	通年	必修	30	1	クラス担当	
授業の目的						
年間を通して様々なイベント(始業式・終業式・遠足・修学旅行・企業見学・展示会見学など)を実施し、校内郊外問わずチームワークに必要なコミュニケーション能力や集団行動のマナーを身に付ける。						
授業の到達目標						
①5分前行動ができる ②人の話をしっかり聞くことができる ③グループで協力し合うことができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
出欠席					50%	50%
受講態度				20%	30%	50%
使用テキスト・教材						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	K3-K08			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Word processor sand table calculationⅢ ワープロ・表計算Ⅲ					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3年	後期	必修	30	1	小澤 稔	
授業の目的						
幼稚園や保育所では、子どもたちと直接関わる保育や教育活動だけでなく、パソコンを活用した事務作業も大切な仕事の一つである。本授業では、PowerPoint を活用してお楽しみ会や保護者会を想定したプレゼンテーションに必要なスライド作りや、思いを相手に伝える心得を学習する。						
授業の到達目標						
①PowerPoint を用いて、プレゼンテーションスライドを作成することができる ②PowerPoint を用いて、人前で物事を相手にわかりやすく伝えることができる						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
最終課題（個人制作）			20%	30%		50%
途中課題（個人制作）			30%	10%		40%
受講態度					10%	10%
使用テキスト・教材						
30時間でマスタープレゼンテーションPowerPoint2016（実教出版）						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	K3-K33			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
児童文化					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	15	1	江塚 会里・清水 敬子	
授業の目的						
<p>児童文化は、大人が子どものために作ったり、子どもたち自身が作ったりしながら遊びの中で子どもたち共有され、楽しまれ、仲間や次の世代に伝えられていくものである。この児童文化の重要性を十分に認識し、内容を把握し、自分自身も児童文化財に触れ、児童文化の実践的指導ができるよう学習する。</p> <p>本科目の一部は、認定絵本土養成講座カリキュラムに基づき行われる。</p>						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとっての児童文化の必要性を理解できる。 ・遊びの分類、種類を学び、児童文化財が子どもたちにとってどのような影響を与えるかを理解できる。 ・伝承遊び、絵本、紙芝居、おもちゃ、遊び場と施設、遊具等の意義と与え方が理解できる。遊びの分類、種類を学び、児童文化財が子どもたちにとってどのような影響を与えるかを理解する。 ・本科目の一部において、認定絵本土養成講座カリキュラム内の「おはなし会の手法」を学び、資格取得に必要な知識・技能・感性を身につける。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業		
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
受講態度			%	%	10%	10%
中間課題 (レポート)			10%	10%	10%	30%
最終課題 (科目終末試験)			10%	10%	10%	30%
認定絵本土取得に該当する単元は全講義出席を条件とする。			10%	10%	10%	30%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・近畿大学九州短期大学テキスト「児童文化」 ・中央法規出版「認定絵本土養成講座」 ・東京こども図書館 「よみきかせのきほん」 						

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	K3-K42	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
保育・教職実践演習					こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	15	1	江塚 会里		
授業の目的							
この授業では、これまでの学習と実習の成果を振り返りながら、保育士、幼稚園教諭に求められる資質と能力の習得を確認する。学生自身が必要に応じて自己の資質と能力の向上に努めることができるよう、課題・発表・ロールプレイ、模擬保育を組み合わせる。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園実習、保育実習の振り返りを行い、保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技能の習得を確認する。 ・保育し、幼稚園教諭として必要なコミュニケーション能力を習得する。 ・保育士、幼稚園教諭としての使命感と職務内容について理解する。 							
授業方式							
対面	○	ライブ型			オンデマンド型		
授業形態							
講義		演習		○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク			プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL			反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		○	教えあい授業		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
受講態度・意欲			%	%	10%	10%	
課題			10%	10%	10%	30%	
レポート			10%	10%	10%	30%	
発表			10%	10%	10%	30%	
使用テキスト・教材							
・近畿大学九州短期大学テキスト「保育・教職実践演習」							

シラバス (授業概要)		年度	2022年度		
		科目コード	K3-K45		
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Pre-training post-mortem instructionⅢ 実習事前・事後指導Ⅲ				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	2	前田 由美子
授業の目的					
保育士養成課程、幼稚園教諭養成課程の実習事前事後指導Sの理解をさらに深めるために学校独自が設定した実習指導である。単位実習の意義を理解した上で、各実習に対応できるよう単位実習全般にかかわる内容を学習する。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・単位実習の全体的な枠組み、実習の意義・目的を理解し、実習中の自らの課題を明確にする。 ・実習生として必要な態度・マナーを身につける。 ・実習に必要な書類や実習中の記録の書き方を身につける。 ・指導計画書の作成に関わる知識と技能を、身につける。 ・実習の事後指導を通して実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習		実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○
ロールプレイ	○	PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
評価項目					
受講態度・意欲・出席状況		%	%	30%	30%
課題		10%	10%	20%	40%
レポート		10%	10%	10%	30%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド 教育・保育実習実技ガイド ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 ・実習の記録と指導案 ・配布資料 					

シラバス (授業概要)		年度		2022年度	
		科目コード		K3-K50	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Music play 音楽演奏Ⅲ				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	90	3	鈴木千緒
授業の目的					
幼児教育の現場でのより実践的なピアノ演奏法・歌唱法・伴奏法・表現法を習得する。					
授業の到達目標					
読譜がきちんとでき、同じ早さで弾くことができる。 コールユーブンゲンなどでソルフェージュ能力を養う。 子どもの歌が元気よく明るい声で音程良く歌える。弾き歌いで止まらない。					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他	課題曲・自由曲の演奏及び発表				
成績評価の方法					
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
評価項目					
修了時テスト (ピアノ演奏)		15%	15%	20%	50%
修了時テスト (弾き歌い)		20%	10%	10%	40%
受講態度		%	%	10%	10%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
テキスト:「音楽 (ピアノ歌本)」「音楽 (声楽教本)」					

シラバス (授業概要)		年度		2022 年度	
		科目コード		K3-K53	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
実践講座Ⅲ				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	120	4	前田 由美子
授業の目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・実習へ行く意識を高め、園での遊びを体験する中でどの時期にどのような遊びが子どもたちに適しているのか、また遊びの中にある学びを学ぶ。 ・同じ遊びでも、子どもたちの発達に応じた教材の選び方や出し方、作り方などを学ぶ。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を意識しながら遊びを体験する中で、言葉がけや援助について考え、幼児理解を深めていくことができる。 ・いろいろな技法を学び、効果的な作品を作っていくことができる。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価項目	評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
課題(作品)		20%	20%	%	40%
発表		20%	20%	%	40%
忘れ物		%	%	10%	10%
受講態度		%	%	10%	10%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
なし					

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	K3-K53			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Practical CoursesⅢ 実践講座Ⅲ					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	120	4	戸塚 恵	
授業の目的						
<p>幼児期に多様な表現活動の経験を経ることは、その後の論理的思考や抽象的思考の土台になることを踏まえ、幼児にあらゆる造形の表現方法を体験する機会を提供できるよう保育者自身の知識や技術の向上を目指す。</p>						
授業の到達目標						
<p>絵画・工作・粘土・おもちゃ作りなどの制作活動を通して道具の使い方、材料の活かし方を工夫し習得する。子供の発達に応じて造形活動をより楽しく経験できるよう援助するためのノウハウを身に付ける為に制作創作活動をしながらポイントをまとめて記録する。</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○	
その他	○					
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
課題制作			60%	%	%	60%
プレゼン			%	10%	%	10%
教材研究			20%	%	%	20%
取り組み意欲			10%	%	%	10%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
ハサミ、カッター、接着剤、テープ類、画用紙、描画用具、油粘土、紙粘土、その他個人の必要に応じて収集した材料						

シラバス (授業概要)					年度	2022年度
					科目コード	K3-K53
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Practical CoursesⅢ 実践講座Ⅲ					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	20	4	桑原 健吾	
授業の目的						
<p>3歳以上児向けの様々な運動遊びを中心に展開していくが、幼児期運動指針のキーワードにもなっている「多様な動き」とは何か理解できるよう、各歳児の運動発達の特徴にも触れながら演習形式で進めていく。</p> <p>また、学生自身が運動遊びの指導計画や実践も行うことで、子どもが楽しく安全に体を動かす為に何が必要なのかを様々な視点から捉え、課題を明確にしていく。</p>						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な運動遊びを実体験し、子どもが熱中する対象年齢を理解することができる。 ・最近注目されているスポーツに触れ、コミュニケーション力の重要性を理解することができる。 ・運動遊びの指導計画と実演をし、指導する側のポイントや配慮点を理解することができる。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
演習課題			%	20%	40%	60%
レポート			30%	%	%	30%
出席状況			%	%	10%	10%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
なし						

シラバス (授業概要)					年度	2021 年度	
					科目コード	K3-K53	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Practical CoursesⅢ 実践講座Ⅲ					こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	120	4	青木 直子		
授業の目的							
<p>絵本（赤ちゃん絵本、創作絵本、科学絵本、昔話絵本）についての知識と見分を広めるとともに、3年生は昔話絵本に多く触れる 実際の保育現場に保育者として立つことを念頭に置き、年齢に合った絵本の選び方、読み聞かせの方法を理解し、絵本カリキュラムが作成できるようにする。</p>							
授業の到達目標							
<p>(1) 年齢に合った絵本のジャンルを理解し、選ぶことができる。 (2) 年齢に合った絵本のジャンルを理解し、子どもに読んであげること想定し、人前で声を出して読むことができる。 (3) 年齢に合った読み聞かせ方ができる。</p>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ		PBL		反転授業			
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
修了時テスト（筆記）			40%	%	%	40%	
演習			20%	10%	10%	40%	
受講態度			%	%	20%	20%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
使用テキスト・教材							
<ul style="list-style-type: none"> ・「よみきかせのきほん」東京子ども図書館 ・「絵本の本」中村征子著 ・昔話絵本 							

シラバス (授業概要)		年度	2022年度		
		科目コード	K3-K56		
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
こどもと絵本				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	2	江塚会里・青木直子 平野久美子・横井暁子 井澤真以子・清水敬子 加茂房子・高林快晴 有賀武史 長谷川義史・大友剛
授業の目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・本科目は認定絵本士養成講座カリキュラムに基づき行われ、認定絵本士に必要な知識・技能・感性を体系的に学ぶ。また、認定絵本士の資格取得後、保育現場を中心に地域の読書活動を推進する担い手となっていく。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・認定絵本士養成講座カリキュラムに関するガイドラインに示された各単元の修得目標を達成する ・絵本の世界を広げる技術を身につける。 ・絵本の持つ力を理解する。 ・子どもの心をとらえるものを理解する。 ・人を楽しませる手法を身につける。 ・認定絵本士として今後の活動を明確にする。 ・紹介する技術を理解する。 ・絵本のある望ましい空間を理解する。 ・大人の心を豊かにする絵本を理解する。 ・絵本が生まれる現場について理解する。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習		実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
評価項目					
出欠状況 (全講義出席)		%	%	30%	30%
受講態度		10%	10%	10%	30%
課題 (レポート)		20%	10%	10%	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・関連する新聞、手記、DVD 視聴など ・中央法規出版「認定絵本士養成講座」 ・東京こども図書館 「よみきかせのきほん」 					

シラバス (授業概要)		年度		2022 年度	
		科目コード		K3-K59	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
保育総合演習Ⅲ				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	前田 由美子
授業の目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに生活習慣を分かりやすく教えるために、自分で台本や型紙を考えてエプロンシアターを製作し、演じ方を学ぶ。 ・布の感触の良さや温かさが子どもたちの情緒を豊かにすることを知り、布を使ったおもちゃ製作を学ぶ。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに伝えたい題材を決め、わかりやすく楽しい話を自分なりに考え、魅力ある登場人物や小物などを創意工夫して製作することができる。 ・ポケットからの出し入れを効果的に使いながら、楽しく演じることができる。 ・いろいろな縫い方を工夫しながら、おもちゃを製作することができる。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○
アクティブ・ラーニング					
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価項目		評価観点			配点計
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	
課題 (作品)		20%	20%	%	40%
発表		20%	20%	%	40%
忘れ物		%	%	10%	10%
受講態度		%	%	10%	10%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度
					科目コード	K3-K61
					時間数は45分換算	
授業科目名					学科・コース	
Children and the Environment II 子どもと環境Ⅱ					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	30	1	平野 久美子	
授業の目的						
子どもの発達における広義の「環境」の重要性について、様々な演習を通して学んでいく。						
授業の到達目標						
領域「環境」のねらいを念頭におき、様々な環境にかかわる保育の内容及び指導に関する知識、技術の活用方法を取得する。また「環境による保育」のとらえ方や、地域の自然環境を社会資源として保育に取り入れていく視点を養う。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク	○	プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
意欲・態度			%	%	30%	30%
単元ごとのレポート (指導案、実習日誌)			20%	20%	10%	50%
実習事前レポート			%	20%	%	20%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
			%	%	%	%
使用テキスト・教材						
内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 (H29 年告示)」チャイルド本社 厚生労働省編「保育所保育指針解説書 (H30 年3月)」フレーベル館						

シラバス (授業概要)		年度		2022 年度	
		科目コード		K3-K62	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Tiikiborantelia 地域ボランティア				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	前田 由美子
授業の目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における世界や自国の出来事に関心を持ち、自分の考えを持つことができる。また、自分とは違う考えを受け、共に話し合い学びあうことができる。 ・身近な地域で自分たちになにができるのかを話し合い、計画・実行をしてボランティア活動の意義を学ぶ。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域で行われているボランティア活動の内容を調べ、自分たちになにができるか考えることができる。 ・グループワークの中で、自分の意見を発言したり、違う考えに対して討論したりしながら、ボランティア計画を進めていくことができる。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価項目		評価観点			配点計
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	
受講態度		10%	10%	30%	50%
課題		10%	10%	10%	30%
発表		10%	10%	%	20%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度		
		科目コード	K3-K63		
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Ritomikku リトミック				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	前田 由美子
授業の目的					
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて身体表現をするリトミックの基礎や身近にある音楽遊びを学ぶ。 ・楽器を使ったり身体表現をしたりする楽しさを体験し、子どもたちへの指導の仕方を学ぶ。 					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽遊び、うたあそびを通じて音を楽しむことができる。 ・ピアノの音に合わせて、身体表現を行うことができる。 ・季節の歌に合わせて簡単な振り付けを考えることができる。 ・一つのテーマに沿って、自分なりに考えた指導方法で実践することができる。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	
その他	運動・レクリエーション				
成績評価の方法					
評価項目	評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
受講態度		10%	20%	20%	50%
修了時テスト(実演)		10%	20%	20%	50%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
こどものうた 100					
授業内容・授業計画					

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	K3-K64	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Graduation Research 卒業研究					こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	60	2	江塚 会里		
授業の目的							
3年間の集大成として、授業や実習等で学んだことを基に、就職先でも生かせるテーマを各自で設定する。各自設定したテーマに沿って研究を進め理解を深めるとともに、3年間の実習等の実践と結びつけて論文をまとめる。最後に研究成果を発表する。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育、保育、福祉等、授業や実習の学びを基に研究テーマを決め、テーマに沿って研究を進め、理解を深める。 ・ 理論と実践を結び付けて考察することができる。 ・ 研究した内容を論文、プレゼンテーション資料にまとめることができる。 ・ 作成した論文を整理し、プレゼンテーション資料を基に発表する。 							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション	○		
ロールプレイ		PBL		反転授業			
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
受講態度・出席状況			%	%	10%	10%	
論文			10%	10%	10%	30%	
プレゼンテーション資料			10%	10%	10%	30%	
発表			10%	10%	10%	30%	
			%	%	%	%	
			%	%	%	%	
使用テキスト・教材							

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	K3-S15			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Childcare for children with disabilities 児童文化 S					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	20	1	江塚 会里	
授業の目的						
講義と製作実習と演習を行う。 講義 — 児童文化の実例をもとに子どものための児童文化を理解する。 製作実習— グループで話し合い、児童文化財を作る。 演習 — グループ発表をする。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにとっての児童文化の必要性を理解できる。 ・遊びの分類、種類を学び、児童文化財が子どもたちにとってどのような影響を与えるかを理解できる。 ・伝承遊び、絵本、紙芝居、おもちゃ、遊び場と施設、遊具等の意義と与え方が理解できる。 ・子どもたちの「生きる力」の発達のための非認知能力を育む児童文化を作成し、実演しあうことで深く理解する。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
受講態度			%	%	10%	10%
制作課題			10%	10%	10%	30%
グループワーク			10%	10%	10%	30%
発表			10%	10%	10%	30%
使用テキスト・教材						
・近畿大学九州短期大学テキスト「児童文化」						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	K3-S16			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
子どもの健康と安全 S					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	20	1	渡辺 留美	
授業の目的						
<p>子どもの発達や状態に即した適切な対応を理解し、身近なケガや疾病、事故に対して適応処置に対応できる技能を習得する。</p> <p>子どもの健康及び安全管理にかかわる、組織的取り組みや保健活動の経過及び評価などについて理解する。</p>						
授業の到達目標						
<p>発育の時期に応じた必要な知識や技術を習得する。</p> <p>子どもの健康増進のための基本的知識、緊急時の応急処置を理解する。</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業		
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
演習		50%	20%	10%	80%	
レポート		20%	%	%	20%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
<p>テキスト「よくわかる子どもの健康と安全」 ミネルヴァ書房</p> <p>資料 オリジナルプリント他</p>						

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	K3-S23	
					時間数は45分換算		
授業科目名					学科・コース		
保育・教職実践演習S					こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	20	1	江塚 会里		
授業の目的							
この授業では、これまでの学習と実習の成果を振り返りながら、保育士、幼稚園教諭に求められる資質と能力の習得を確認する。学生自身が必要に応じて自己の資質と能力の向上に努めることができるよう、課題・発表・ロールプレイ、模擬保育を組み合わせで行う。							
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・自らの学びを振り返り、保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技能の習得を確認する。 ・保育し、幼稚園教諭として必要なコミュニケーション能力を習得する。 ・保育士、幼稚園教諭としての使命感と職務内容について理解する。 							
授業方式							
対面	○	ライブ型		オンデマンド型			
授業形態							
講義		演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ	○	PBL		反転授業			
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業			
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
受講態度・意欲			%	%	10%	10%	
課題			10%	10%	10%	30%	
ロールプレイ			10%	10%	10%	30%	
発表			10%	10%	10%	30%	
使用テキスト・教材							
・近畿大学九州短期大学テキスト「保育・教職実践演習」							

シラバス (授業概要)		年度		2022 年度	
		科目コード		K3-S25	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Facilities Instruction I 保育実習事前事後指導 I (施設)				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	20	1	江塚 会里
授業の目的					
この科目では、初めに保育実習(施設)の意義・目的・内容といった保育実習(施設)の全体的な枠組みを概説する。それに続いて、具体的な内容を通して児童福祉施設実習(保育所以外)についての授業を行う。					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実習(施設実習)の全体的な枠組みを理解し、実習に臨む心構えを作る。 ・ 指導計画案の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付ける。 ・ 実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ	○	PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	
その他					
成績評価の方法					
評価項目		評価観点			配点計
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	
意欲・態度		%	%	30%	30%
单元ごとのレポート(指導案、実習日誌)		20%	20%	10%	50%
実習事前事後レポート		%	20%	%	20%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
石崎裕子他編「新訂 知りたい時にすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド」同文書院 2018 年					

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度		
		科目コード	K3-S27		
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Internship at preschool 保育実習 I (施設) S				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	江塚 会里
授業の目的					
<p>「保育実習」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設(保育所以外)で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①施設における1日の流れ②子どもや障害者への理解を深める③施設保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ④施設の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める。</p>					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することができる。 ・実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。 ・自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習		実験・実習・実技	○
アクティブ・ラーニング					
グループワーク		フィールドワーク	○	プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
評価項目					
意欲・態度		%	%	20%	20%
実習日誌(記録・指導案)		10%	10%	10%	30%
施設評価		10%	10%	10%	30%
事前事後レポート		%	10%	10%	20%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
・『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』					

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度		
		科目コード	K3-S28		
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Internship at preschool 保育実習Ⅱ (保育所)				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	60	2	江塚 会里
授業の目的					
<p>「保育実習」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①保育所における1日の流れ②子どもへの理解を深める③保育士の業務内容や職業倫理について学ぶ④保育所等の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める。</p>					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育現場で保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるが理解することができる。 ・実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。 ・自分なりの保育観や子ども観を深め確立する。 ・「保育実習Ⅰ」を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質、能力、技術を向上させる。 ・子育て支援をするために必要な知識・技術とニーズに対する理解力・判断力を養うことができる。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習		実験・実習・実技	○
アクティブ・ラーニング					
グループワーク		フィールドワーク	○	プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	
その他					
成績評価の方法					
評価項目		評価観点			配点計
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	
意欲・態度		%	%	20%	20%
実習日誌 (指導案、実習日誌)		10%	10%	10%	30%
園評価		10%	10%	10%	30%
実習事前レポート		%	10%	10%	20%
使用テキスト・教材					
石崎裕子他編「新訂 知りたい時にすぐわかる幼稚園・保育所・児童福祉施設等実習ガイド」同文書院 2018年					

シラバス (授業概要)		年度	2022年度		
		科目コード	K3-S31		
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Internship at preschool 教育実習②S				こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	90	3	江塚 会里
授業の目的					
<p>「教育実習」は、幼稚園教諭免許を取得するために幼稚園で行う実習である。教育実習②の15日間の実習では、専門教育科目で獲得した幼児教育に関する知識、技能を活用しながら、実践的指導力を体験的に、また相互的に高めていく。また、教育実習②では、指導実習を主とする実習を行う。</p>					
授業の到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解する。 ・幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解する。 ・幼稚園での1日の教育活動を振り返り、観察記録を作成することができる。 ・部分実習または、全日実習の指導計画を立案することができる。 					
授業方式					
対面	○	ライブ型		オンデマンド型	
授業形態					
講義		演習		実験・実習・実技	○
アクティブ・ラーニング					
グループワーク		フィールドワーク	○	プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
評価項目					
意欲・態度		%	%	20%	20%
実習日誌（記録・指導案）		10%	10%	10%	30%
施設評価		10%	10%	10%	30%
事前事後レポート		%	10%	10%	20%
		%	%	%	%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド ・教育・保育実習実技ガイド ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領・幼稚園教育要領・保育所保育指針 					

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	K3-S33			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Childcare training instruction II 保育実習事前事後指導ⅡS					こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	30	1	江塚 会里	
授業の目的						
「保育実習(保育所)」での自己評価と課題・今後の学習目標について再度確認する。それに基づき、具体的な内容を通して、実習計画作成、実践、日誌の記録など、より実践的な内容を学習する。さらに、「保育実習Ⅱ」に関する目的を明確にし、「保育実習Ⅱ」の終了後には、自己評価と保育士としての自己課題について考察する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・「保育実習事前事後指導」「保育実習(保育所)」、またその他の教科で学習した内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解を深める。 ・指導計画の作成や記録など保育の実践力を養う。 ・保育士として自己の課題を明確化する。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義		演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
評価項目						
受講態度・意欲・出席状況		%	%	30%	30%	
課題		10%	10%	20%	40%	
レポート		10%	10%	10%	30%	
		%	%	%	%	
		%	%	%	%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・『幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド』 ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 ・幼稚園教育要領 ・保育所保育指針 ・『保育所保育指針解説書』 						

